

「山野」の地名の由来は、1889年（明治22年）の町村制の施行（いわゆる明治の大合併）により、21の村（一部を含む）が合併し、「山野村」が発足したことにはじまる。その当時に組織されていた村落の大部分が、旧山斐郷やまひごうに所属し、かつ山見組の支配下にあった。また、村内のほぼ中央を流れる岩屋口用水（現在の苗島八塚用水）の北西に位置する村落は、旧野尻組のじりごう（野尻郷）に所属していた。従って、山見の『山』と野尻の『野』の頭文字一字宛を引用して「山野村」と呼称することになったといわれている。

山野地区回顧誌『共存同栄』より

目次

はじめに			
山野地区の生い立ち	1	山野交流センター	49
目次	2	施設案内	
山野地区について	3	サロン・サークル	
山野地区の位置		やまのりくん	
各集落の人口・世帯数		やまのいもっこ倶楽部	52
山野周辺にある主な施設	4	ふれあい広場やまの	
山野地域づくり協議会	5	生活のあれこれ	53
組織図・各委員会の担当業務		ゴミ出しのルール	
年間行事		当番いろいろ	
ルールには濃さがある	8	公民館清掃・交通安全街頭指導	
地区内の10集落（自治会）		不燃・資源ごみ収集など	
坪野（つぼの）	9	不幸があったとき	
山斐（やまひ）	13	子育てのあれこれ	55
岩屋（いわや）	17	保育園・小中学校	
飛騨屋（ひだや）	21	災害時の対応	56
野能原（ののはら）	25	山野の豆知識	57
井波軸屋（いなみじくや）	29	らせん水車・いもによ（いもによう）	
安室（あじつ）	33	コラム集	59
清水明（しみずみょう）	37	電話帳	62
高屋（たかや）	41	さいごに（編集後記）	
専勝寺（せんしょうじ）	45		